

# 大和郡山 防災ニュース 30. 10月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

## 地元で進めよう災害時要支援者対策！

### ・避難所にどうやって行ったらいい？という問い――

今年は、西日本豪雨や度重なる台風接近で5回にわたり、避難所を開設しました。特に台風接近の予報が出ているときは、住民の皆さんから、「いつ避難所が開設しますか？」というお問い合わせも増えており、避難に関する意識も高くなってきていることを実感いたします。

さて、そのような状況でよくいただくのが、「私は歩くのがたいへんなのだが、避難所まで行くのはどうすればよいのか？」という内容のお問い合わせです。中には、市役所や避難所の職員が家まで迎えに来てほしい、とおっしゃる方もおられますが、お気の毒ではあるものの、現実の問題として、現場巡視や避難情報発令のための避難所開設準備、また住民やマスコミなどからの問い合わせの電話対応で災害出動している市職員は手一杯であり、元より、避難に支援が必要な方すべてに市職員が対応することは物理的にもできません。結局、タクシーなどを使って避難される方もおられるようで、「避難」をしていただくのも大層なことなのだと感じております。



### ・地域や隣近所同士で寄り添って不安を軽減！

ある自治防災組織の話ですが、先月の台風24号接近の際、地域の要支援者に電話連絡を行い、希望者には車で避難所まで送ってあげたという話を聞きました。もちろん、どこの自治会でもできることではないと思いますが、ゆっくり歩くことはできるけれど、避難所まで一人で行くのは、不安だし、道中のしんどさを考えると億劫だ、という方もみんなで打ち合わせて一緒に会話しながら歩いていけば、不安やしんどさも軽減するかもしれません。最近、ある避難所では、台風接近などで不安なお一人暮らしの方がご近所同士、何人





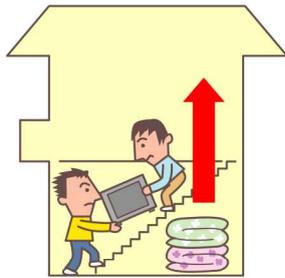
かと一緒に歩いてくるといったケースも見られます。その地域は自主防災組織は未結成なのですが、組織があるなしという形式的なことではなく、このように、災害に対する対応力が弱い方々でも、固まって協力し合えば、乗り越えられることもあるのだと感じます。

自主防災組織においても、これらの事例を参考に地域における避難情報の伝達と集団的避難をできるところから進めていただけないでしょうか！

また、災害＝つらいこと、不安なこと、であることは、間違いありませんが、そんな中でも、人の温かみや会話など生まれてくるものはあると思います。「台風はこわいけど、避難所にくると、あなたに会えるから」といった避難所友達もできるかもしれません。



### ・暗くなったら--雨風強い時は、--垂直避難の選択を！



避難を躊躇しているうちに、また急な夕立が豪雨に転じたりと、既に外に出ること自体、危険な状態になっている場合もあります。そんなときは、家、建物の2階以上に逃げる垂直避難を選択しましょう。その際は食料や水、布団など必要なものも持って上がりましょう。また、1階が水に浸かるとショートしたり停電する場合があります。懐中電灯も持って上がりましょう。

### ・市民安全メールにぜひご登録を！

台風のように事前に天候の悪化がある程度予測できる場合は、早めに、市内7箇所の公民館やコミュニティー会館を自主避難所として開設しています。自主避難所の開設は、登録制の市民安全メールと市ホームページでお知らせします。エリアメールは避難勧告など緊急性の高い情報でしか使用できませんが、市民安全メールでは、自主避難所開設情報のほか、大和郡山市域に発令された気象警報も送付します。この機会にぜひ登録してくださいね！

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課